

NO! リニア

No. 70
2013年 9月20日
JR東海労働組合
リニア反対プロジェクト

リニア、アセス準備書公表で世間はお祭り騒ぎ JR東海労は反対の闘いを強化する!

JR東海は9月18日、リニア中央新幹線建設に向けた環境影響評価（アセスメント）準備書を公表しました。準備書には、線路や駅の位置が具体的に提示されたり、動植物への影響などが記されています。今後、住民への説明会を経て、各自治体などからの意見をまとめ、評価書の作成に取りかかる流れとなります。

マスコミ各社はこれを大々的に報道し、リニアの利点ばかりを強調しています。住民へのインタビューも、ほとんどは期待の声や歓迎の意を表明するものばかりで、ま

るでお祭り騒ぎのようです。かつて、原子力が未来のエネルギーだと騒ぎ、原発建設へと突き進んでいった時代を彷彿させると言っても過言ではありません。原発建設ラッシュの結果、今の福島第一原発事故を引き起こしました。数年後、数十年後のリニアの安全は保証されているのでしょうか？

JR東海や国は、建設ありきでリニア建設を進めています。私たちJR東海労は、この間主張してきたように、リニア中央新幹線は経営を危うくするものであり、絶対に認めることはできません。地域・職場からリニア中央新幹線建設反対のための闘いを、より一層強化しようではありませんか。

品川 ▶▶ 40分 ▶▶ 名古屋

リニア前進黨 来年着工へ

JR東海ルート・駅位置公表

JR東海は18日、リニア中央新幹線の概要を発表した。新駅6カ所に建設する、タイムループ東京圏の品川駅以下、名古屋市中区の名古屋地下駅、中間駅は相模原市のJR橋本駅付近、甲府市大津町付近、長野県田代町飯沼付近、岐阜県津川市平戸付近の4カ所に定まる。

品川、名古屋間は、既設の駅の地下で直結し、東海道新幹線との乗り換えを容易にする。品川、名古屋間は、2017年に開業する。

沿線活性化に期待

眺望は望み薄 ■東京集中懸念も